

研究指導・研修等に関する事業一覧

プロジェクト名	担当部門	頁
国際研修第 10 回「紙の保存と修復」(修 05)	修復技術部	73
無形文化遺産に関する助言(無)	無形文化遺産部	74
文化財の材質に関する調査と援助・助言(保)	保存科学部	74
文化財の修復及び整備に関する調査・助言(修)	修復技術部	75
美術館・博物館等の環境調査と援助・助言(保)	保存科学部	76
保存担当学芸員研修(保 05)	保存科学部	79
連携大学院教育(共)	保存科学部	81

国際研修第10回「紙の保存と修復」(修05-06-1/5)

目 的

海外で所蔵されている絵画や書跡、冊子などの紙文化財は、日本と違った気象条件で長期間保存されてきたために、損傷を持った作品が多い。また、担当者の不慣れな取り扱いによって作品を破損する場合もある。日本美術品の保存・修復・活用を行うには、材料・技法などの基礎的な理解と基本的な取り扱いや修復に関する実技研修が必要であるが、海外でその様な機会を得ることは困難である。本研修は、紙文化財に関する保存修復の講義および演習を通して、研修参加者に、紙文化財に関わる基礎知識を伝えるものである。

概 要

研修日程 2006(平成18)年9月11日(月)~9月29日(金)

研修場所 東京文化財研究所、長谷川和紙工房、美濃和紙の里会館、京都国立博物館文化財修理所

研修対象 紙文化財の保存と修復を担当する学芸員、修復技術者、科学者および保存担当者

研修内容

- <講 義> 川野邊渉(東京文化財研究所)「文化財修復に用いられる膠着剤について」
池田寿(文化庁)「日本の紙文化財の保存と修復」
山本記子((株)文化財保存)「絵画材料・装幀材料とその使い方」
岡泰央((株)岡墨光堂)「装幀技術概論」
稲葉政満(東京芸術大学)「和紙入門：製造法、耐久性、水分変化の影響」

<実 習>

- 9月12日~16日 工程の説明、糊の調製、補紙、補紙削り、肌裏打ち、増し裏打ち、仮張り、折れ伏せ
9月17日~19日 エクスカーション(岐阜県美濃市長谷川和紙工房、見学/美濃和紙の里会館、展示資料
観覧及び和紙の手漉き/京都国立博物館文化財修理所、国宝修理装幀師連盟)
9月20日~29日 本紙継ぎ、軸付け、仕上げ、巻緒つけ、掛け軸・屏風の取り扱い、掛け軸・冊子の応急
処置

<ディスカッション> 研修全体を通しての成果、疑問などについての討論

- <研修参加者(10名)> バルバラ・ヴィチオッキ(ベネチア東洋美術館)
キルステン・プレスラー(デンマーク王立図書館)
マリア・フロレンシア・ヘア(アルゼンチン連邦博物館友好協会)
ソーヤン・ジョン(韓国国立文化財研究所)
フィオナ・ケンプ(オーストラリア国立美術館)
ベルトラン・ラヴェドリン(フランス国立歴史自然博物館)
フィオナ・ジェーン・マッキノン(ライデン国立民族博物館)
ゾフレ・モラードハーニー(イラン現代史学研究所)
アナ・アリエッタ・レヴィティ(ギリシア国会図書館)
ミナ・ソン(アメリカ芸術歴史文化遺産保存センター)

報告書 1件

・『International Course on Conservation of Japanese Paper, 2006』 東京文化財研究所 166p 07.3

研究組織

加藤寛、早川典子、加藤雅人、長瀬万里、加藤恵(以上、修復技術部)

無形文化遺産に関する助言（無）

無形文化遺産の保存・伝承・活用等に関する各種委員会等へ出席し、以下の指導・助言を実施した（宮田繁幸、鎌倉恵子、高桑いづみ、飯島満、俵木悟）

- (1) 文部科学省（教育映画等審査に関して）に対する助言 12件
- (2) 文化庁芸術文化課地域文化振興室に対する助言（文化芸術による創造のまち支援事業に関して） 17件
- (3) 文化庁伝統文化課に対する助言（国際民俗芸能フェスティバルに関して） 1件
- (4) 岐阜県揖斐川町教育委員会に対する助言 1件
- (5) 日本芸術文化振興会に対する助言（劇場賞選考、運営計画、文化デジタルライブラリー関連） 9件
- (6) 日本芸術文化振興基金に対する助言（助成事業に関して） 3件
- (7) (財) 伝統文化活性化国民協会に対する助言（伝統文化データベース、ふるさと文化再興事業、伝統文化こども教室関連事業に関して） 9件
- (8) 全国民俗芸能大会に関する助言 5件
- (9) 全国青年大会郷土芸能の部運営委員会での助言 2件
- (10) 園田学園近松研究所に対する助言 2件
- (11) 韓国国立民俗博物館に対する助言 4件

文化財の材質に関する調査と援助・助言（保）

(1) 文化財の材質調査

様々な文化財資料について、その材料や彩色を科学的に調査し、化学組成や化学的構造を明らかにした。可搬型の機器を用いて、文化財資料が置かれている場所での現地調査も実施した。調査終了後には報告書を作成し、分析依頼元へ提出した。

(資料)	(依頼者)
金属製品 2件	徳川博物館
染織品 2件	名古屋大学
漆製品	上野学園
日本画	大倉集古館
日本画 3件	東京美術倶楽部
日本画	愛知県美術館
金属製品 2件	埼玉県埋蔵文化財事業団
乾漆像	和歌山県教育委員会
金属製品 2件	文化庁
木彫品	平等院

(2) X線透視撮影による構造調査

X線透視撮影を用いて文化財資料の構造を調査し、資料の制作技法や劣化の状態を明らかにした。

	資料名	所蔵者(依頼者)
絵画	日本画	愛知県美術館
彫刻	仏像	人間市博物館
工芸品	漆器	奈良国立博物館
	漆器(蒔絵鼓胴)	個人蔵
	漆器	文化庁
	刀剣	日本美術刀剣保存協会
	金属工芸	徳川美術館
その他	面	国立能楽堂
	標本	国立科学博物館

文化財の修復及び整備に関する調査・助言(修)

- ・財団法人日本航空協会評議員会(川野邊渉)
航空機や関連資料の保存修復に関する指導助言を行った。
- ・有限責任中間法人国宝修理装飾師連盟資格試験委員会(川野邊渉)
有限責任中間法人国宝修理装飾師連盟の行う資格試験において、試験委員として指導助言を行った。
- ・史跡原爆ドーム保存技術指導委員会(川野邊渉)
史跡原爆ドームの保存方策の検討にあたり、修復技術手法に関する指導助言を行った。
- ・史跡原爆ドーム躯体レンガの保存修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介)
史跡原爆ドーム躯体レンガの保存修復に関する指導助言を行った。
- ・重要文化財旧下野煉化製造会社煉瓦窯の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介、朽津信明)
旧下野煉化製造会社煉瓦窯の修復方針に関する指導助言を行った。
- ・重要文化財旧手宮鉄道施設(小樽市)の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介)
機関車庫1号の半解体修理において修復材料・技術に関する指導助言を行った。
- ・御料車及び1号機関車(交通博物館)の搬出入方法に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介)
御料車及び1号機関車の移設に際して、搬出入方法に関する指導助言を行った。
- ・所沢航空発祥記念館所蔵91式戦闘機胴体の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介)
91式戦闘機胴体の保存修復に関する指導助言を行った。
- ・第五福竜丸エンジンの保存修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介)
第五福竜丸エンジンの修復技術・材料に関する指導助言を行った。
- ・国宝高松塚古墳壁画の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、加藤雅人、森井順之)
国宝高松塚古墳壁画の保存修復計画に関する調査助言を行った。
- ・特別史跡キトラ古墳壁画の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、加藤雅人、森井順之)
特別史跡キトラ古墳壁画の保存修復に関する調査助言を行った。
- ・重要文化財「京都府行政文書」の調査/保存修復の指導助言(川野邊渉、加藤雅人)
京都府総合資料館において重要文化財「京都府行政文書」の調査および保存修復の指導助言を行った。
- ・曼殊院所蔵竹虎図の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、加藤雅人)

曼殊院所蔵竹虎図の保存修復に関する指導助言を行った。

- ・熊野磨崖仏（豊後高田市）の保存整備に関する指導助言（川野邊渉、森井順之）
藻類と思われる生物繁茂状況の調査と環境測定および防除方法の指導助言を行った。
- ・愛媛県立科学博物館所蔵グレートフォールズ型転炉の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
防錆処理を行ったグレートフォールズ型転炉の保存環境に関する調査、指導助言を行った。
- ・大韓民国に所在する鉄道文化財の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
大韓民国に所在する鉄道文化財の保存修復に関して、慶州大学校に指導助言を行った。
- ・市川市指定有形文化財常夜灯の保存修復に関する指導助言（朽津信明、森井順之）
河川改修に伴う常夜灯移設工事について、耐震性や石材強度の見地から指導助言を行った。
- ・喜多見氷川神社（世田谷区）石鳥居の保存修復に関する指導助言（森井順之）
区指定有形文化財の石鳥居の保存修復方法に関して指導助言を行った。
- ・小倉城（北九州市）三の丸跡の遺構整備に関する指導助言（森井順之）
道路拡張工事に伴う遺構整備に関して、強化材料および展示環境に関する指導助言を行った。
- ・重要文化財 0.5t 及び 3t スチームハンマーの修復後処置に関する指導助言（森井順之）
横須賀市ヴェルニー公園に展示されているスチームハンマー2基について、周辺環境に関する指導助言を行った。

美術館・博物館等の環境調査と援助・助言（保）

国宝・重要文化財などの指定品および東京国立博物館収蔵資料の借用に関して館内環境調査を行い、報告書を作成・提出した。

青森	青森県立美術館	岐阜	海津市歴史民俗資料館
岩手	岩手県立美術館	三重	松阪市文化財センター「はにわ館」
群馬	高崎市観音塚考古資料館 群馬県立館林美術館	京都	大谷大学博物館 八幡市立松花堂美術館 三千院門跡円融蔵
埼玉	鉄道博物館	大阪	高槻市立しろあと歴史館 関西大学博物館
東京	東京都写真美術館 明治大学博物館 三井記念美術館 サントリー美術館 国立新美術館 泉屋博古館分館 根津美術館	兵庫	但馬国府・国分寺館 朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」
神奈川	箱根神社宝物殿 茅ヶ崎市美術館	和歌山	和歌山県立近代美術館
福井	おおい町立郷土資料館	島根	島根県立石見美術館 島根県立古代出雲歴史館 荒神谷博物館
山梨	山梨県立博物館	山口	萩博物館
長野	松本市美術館	福岡	北九州市立自然史・歴史博物館 伊都国歴史博物館
海外	リートベルグ美術館（スイス連邦・チューリッヒ市）	長崎	長崎県美術館

現地調査はサントリー美術館、沖縄県立博物館、向源寺、国立新美術館、国立能楽堂、埼玉県立歴史と民俗の博物館、三千院門跡円融蔵、台東区立書道博物館、杉野学園衣裳博物館、石水博物館、東京大学史料編纂所、那覇市歴史博物館、八幡市松花堂美術館、八幡平市博物館、福岡市美術館、明治大学記念図書館、明治大学博物館、立正佼正会開祖記念館、リートベルグ美術館（スイス連邦、チューリッヒ市）の19館。

また青森県立美術館など、全国143館の新設既設美術館・博物館等文化財展示収蔵施設に対して環境改善に関する相談を受け、助言を行った。これらの館については各館ごとに環境調査ファイルを作成して調査を行っている。

青森	青森県立美術館 櫛引神社新国宝館	文京区立本郷図書館森鷗外記念室 日本銀行金融研究所貨幣博物館
岩手	花巻市博物館 中尊寺新讚衡蔵 八幡平市博物館 岩手県立美術館	日本銀行情報サービス局 宮内庁書陵部 青梅市立美術館 田端文士村記念館
秋田	秋田市立千秋美術館 秋田市教育委員会 水神社	杉野学園衣裳博物館 文化学園服飾博物館 東京大学史料編纂所 東京大学経済学部資料室
福島	福島県文化財センター白河館	東京大学海洋研究所図書館
茨城	国土地理院地図と測量の科学館 茨城県陶芸美術館	明治大学記念図書館
栃木	那須塩原市那須野が原博物館 史跡足利学校遺蹟図書館 芳賀町総合情報館 中川町郷土資料館 与一伝承館	明治大学博物館 国土館大学イラク古代文化研究所 國學院大學考古学資料館 駒沢大学禅文化歴史博物館 根津美術館
群馬	高崎市観音塚考古資料館 群馬県立館林美術館 日本絹の里	三井記念美術館 サントリー美術館 泉屋博古館分館 西山美術館
埼玉	埼玉県立歴史と民俗の博物館 (財)東日本鉄道文化財団鉄道博物館	(財)東日本鉄道文化財団鉄道歴史展示室
千葉	松戸市博物館 市川市東山魁夷記念館 君津市久留里城址資料館	立正佼正会開祖記念館 神奈川 横浜市民ギャラリーあざみ野 横須賀市美術館
東京	国立新美術館 大臣官房総務課広報室保存庁舎活用準備室 国立能楽堂 東京国立近代美術館 東京都立中央図書館 東京都写真美術館 台東区立一葉記念館 書道博物館	茅ヶ崎市美術館 川崎市市民ミュージアム 箱根神社 桐蔭学園メモリアルアカデミウム 新潟 新潟県立万代島美術館 新潟市歴史博物館 富山 朝日町埋蔵文化財保存活用施設 石川 金沢21世紀美術館

研究指導・研修等 Area21

福井	おおい町立郷土史料館		但馬国府・国分寺館
山梨	山梨県立博物館	奈良	奈良県立万葉文化館
長野	松本市美術館		斑鳩町教育委員会
	サンリツ服部美術館		談山神社
岐阜	岐阜県立博物館	和歌山	和歌山県立近代美術館
	光記念館	島根	島根県立石見美術館
	海津市歴史民俗資料館		島根県古代文化センター
静岡	墨仁堂		島根県古代出雲歴史博物館
愛知	一宮市三岸節子記念美術館		出雲弥生博物館
	豊川市二川宿本陣資料館		荒神谷博物館
	碧南市美術館（仮）		和鋼博物館
	安楽寺	岡山	岡山市デジタルミュージアム
三重	三重県熊野古道センター		林原美術館
	松阪市文化財センター「はにわ館」	広島	筆の里工房
	朝日町歴史博物館	山口	山口県立山口博物館
	財団法人石水会館石水博物館		下関市立考古博物館
滋賀	滋賀県立琵琶湖博物館		萩博物館
	財団法人佐川美術館		梅光学院大学博物館
	向源寺	香川	香川県歴史博物館
京都	京都国立博物館	愛媛	愛媛県歴史文化博物館
	京都市元離宮二条城		松野町目黒ふるさと館
	宇治市源氏物語ミュージアム		八幡浜市市民ギャラリー
	八幡市立松花堂美術館	高知	土佐山内家宝物資料館
	月輪寺	福岡	新九州歴史資料館（仮）
	三千院門跡円融蔵		北九州市立自然史・歴史博物館
	相国寺承天閣美術館		福岡市美術館
	安楽寿院		伊都国歴史博物館
	泉涌寺心照殿	長崎	長崎県美術館
	佛教大学アジア宗教文化情報研究所		長崎県歴史文化博物館
	大谷大学博物館		壱岐市立一支国博物館（仮）
	財団法人泉屋博古館	熊本	熊本県立美術館
	京都服飾文化研究財団	大分	大分市立美術館
	ay-museum（仮）	鹿児島	上野原縄文の森展示館
大阪	高槻市しろあと歴史博物館		三宅美術館
	関西大学博物館	沖縄	沖縄県立博物館新館
兵庫	兵庫県立考古博物館		那覇市歴史博物館
	小野市立好古館		浦添市美術館
	朝来市埋蔵文化財センター	海外	リートベルグ美術館（スイス連邦）
	たつの市立新宮歴史民俗資料館		

保存担当学芸員研修（保 05-06-1/5）

（1）保存担当学芸員研修

期間：2006（平成18）年7月10日（月）～21日（金）、参加者数：30名

近年博物館・美術館の数が増加すると共にその施設が近代化し、燻蒸室、保存・修理などの保存に関する設備が整備されて保存部門を担当する職員が配置されつつある。しかし、これらの職員が保存科学の知識や技術を修得しようとしても適当な学習の場がないのが現状である。そのために博物館、美術館などの学芸員の保存担当者を対象に、文化財の科学的保存に関する基本的な知識及び技術について研修を行い、その資質の向上をもって文化財の保護に資することを目的とし、第23回研修会を開催した。

7月10日（月）

石崎武志「保存科学 総論」

犬塚将英「保存環境 各論 温湿度」

犬塚将英、吉田直人「保存環境 実習 温湿度測定機器の取扱い、湿度制御」

7月11日（火）

齊藤孝正（文化庁）「保存環境 各論 文化財公開施設の設計」

佐野千絵「保存環境 各論 室内汚染」

吉田直人、犬塚将英「保存環境 実習 室内汚染の測定法と環境調査」

吉田直人「保存環境 各論 光と劣化・照度基準」

7月12日（水）

木川りか「生物被害 概論」

山野勝次、木川りか「生物被害 実習 文化財害虫同定」

石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「環境調査実習1」

7月13日（木）

木川りか「生物被害 各論 カビ」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）、木川りか「生物被害 実習 カビの除去」

山本記子「劣化と保存 各論 日本画」

吉田直人「環境調査実習1 報告」

7月14日（金）

石崎武志、犬塚将英「温湿度実習解説」

三浦定俊「調査手法 各論 構造調査」

青木繁夫「劣化と保存 各論 考古資料」

7月18日（火）

木川りか「生物被害 各論 生物防除法」

木川りか「生物被害 実習 殺虫処置」

石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「環境調査実習2 ケーススタディ」

7月19日（水）

歌田真介（東京芸術大学名誉教授）「劣化と保存 各論 油彩画」

加藤雅人「劣化と保存 各論 修復材料」

加藤雅人「劣化と保存 各論 紙」

荒井宏子「劣化と保存 各論 写真」

石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「ケーススタディ 報告」

7月20日(木)

早川泰弘「調査手法 各論 材質調査(無機物)」

吉田直人「調査手法 各論 材質調査(有機物)」

加藤寛「劣化と保存 各論 漆工品」

早川泰弘「劣化と保存 各論 大気汚染の金属への影響」

石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「ケーススタディ報告」

7月21日(金)

石崎武志「劣化と保存 各論 遺跡と水」

三浦定俊「博物館の設備 防災・防犯」

研修参加者名：

阿部有之、池田朋生、石末順子、石橋茂登、井上ひろ美、尾崎晃、河野エリ、後藤雅子、齋藤知美、志賀智史、澁谷卓男、隅田登紀子、田中和仁、田中龍也、田平麻子、多比羅菜美子、友成久実子、内藤栄本多美穂、丸谷仁美、三浦龍一、三宅環、宮島綾子、村越沙織、文珠省三、山口孝子、山田博規、吉宮さつき、龍泉寺由佳、渡邊絵美

所属：

秋田県立博物館、大阪歴史博物館、大野市教育委員会文化振興室、川崎市立日本民家園、岐阜県ミュージアムひだ、九州国立博物館、熊本県立装飾古墳館、群馬県立近代美術館、高知県立美術館、国立新美術館設立準備室、国立歴史民俗博物館、財団法人上原近代美術館、財団法人京都服飾文化研究財団、財団法人石水会館石水博物館、財団法人本間美術館、財団法人三宅美術館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館、札幌市環境文化局、文化部札幌市博物館活動センター、滋賀県立近代美術館、滋賀県立琵琶湖文化館、杉野学園衣裳博物館、田中本家博物館、東京都写真美術館、とちぎ蔵の街美術館、奈良国立博物館、新島村博物館、根津美術館、はつかいち美術ギャラリー、文化庁文化財部美術学芸課、みちのく北方漁船博物館

(2) 博物館・美術館等保存担当学芸員研修フォローアップ研修

日程：2006年6月5日(月)、会場：東京文化財研究所、参加者：62名

1981(昭和56)年より毎年、当研究所で開催している博物館・美術館等保存担当学芸員研修の修了者数は500人を超えた。修了生の尽力によって、収蔵・展示環境は大きく改善し、またそのための知識も広く認識されるに至った。しかし、この間にも、科学の進歩とともに、館内環境改善のための技術は発展し続けている。

さらに、2004(平成16)年末の臭化メチル全廃を機に、IPM(総合的生物管理)による予防を中心とした生物被害対策が求められている。このような時代の進展に伴い、従来とは異なる知識が学芸員に要求されている。本研修では、保存担当学芸員研修終了者を対象に、その職務に必要な最新の知識を常に持つことを目的に、再研修を行おうとするものである。

プログラム・講師

佐野千絵「臭化メチル代替手法の導入状況 文化財の生物被害防除法アンケート2005から」

犬塚将英「二酸化炭素殺虫処理における最適条件の検討」

吉田直人「パッシブインジケータ®を用いた館内環境調査」

石崎武志「調湿建材、断熱材等を用いた大型展示物の温湿度環境の改善」

連携大学院教育（共）

東京芸術大学：システム保存学（保存環境学、修復材料学）

1995（平成7）年4月より東京芸術大学大学院と連携して大学院教育を行い、21世紀の文化財保存を担う人材を育成している。システム保存学教室は、文化財の保存環境を研究する保存環境学講座と保存修復に用いる材料について研究する修復材料学講座の2講座から成っている。各講座3名ずつ研究所所員が連携教員として研究教育指導に当たっている。

連携教員及び主たる担当授業

保存環境学講座

連携教授 三浦定俊（副所長：企画情報部長）

連携教授 石崎武志（保存科学部長）

連携助教授 木川りか（保存科学部主任研究員）

修復材料学講座

連携教授 青木繁夫（文化遺産国際協力センター長）

連携教授 加藤寛（修復技術部長）

連携助教授 早川泰弘（保存科学部化学研究室長）

客員教授 鈴木規夫（東京文化財研究所長）

非常勤講師 大野彩（保存科学部客員研究員）

助 手 松島朝秀

開設講座と主たる担当教員

保存環境計画論（前期） 三浦定俊

保存環境学特論（後期） 石崎武志、木川りか

修復計画論（後期） 青木繁夫

修復材料学特論（前期） 加藤寛、早川泰弘

修復材料学演習（前期） 今期は開講せず

文化財保存学演習

日程：2006（平成18）年4月18日、会場：東京文化財研究所、担当：三浦定俊、早川泰弘
「X線透過撮影法・蛍光X線分析による文化財調査」



石崎武志教員による保存環境学特論の講義



早川泰弘教員による修復材料学特論の講義